

令和6年度 社会福祉法人芳香会 事業活動報告概要書

<経 営>

令和6年度をもって当法人最初の事業であった養護老人ホームが54年間の活動に幕を下ろしました。この間様々な方々に支えられ運営できましたことに感謝すると共にご利用者であった皆様の生活の安定を祈念いたします。また養護老人ホームの閉鎖をはじめ令和6年度の事業活動報告においては、2月に急逝した前理事長への報告にもなればと思っております。

さて令和6年度は外部との交流をはじめコロナ禍前の事業内容に戻しながらの運営となりました。しかしながら引き続き感染症対策を念頭に置く運営となります。その一つとして一時的・突発的に業務量が増える感染症対応、その時の時間外労働ですが、限度時間を超えて対応することができる特別条項付きの36協定を次年度は3事業所(特養・つくし・落)が結んでおります。

コロナ禍で失った数年をいち早く取り戻すと共に各事業の内容を深め、地域における役割を果たしていけるよう努めて参ります。

一方、財務状況(経常増減差額=本業)は法人全体の決算で5期連続赤字であり厳しい状況が続いております。高齢部門においては、ケア・アシスタンスが収益改善の為、コンサルを活用し着実に成果を出しています。しかしながら黒字化にはまだ時間が必要な状況です。障害部門は黒字ではありますが、収益確保に努めていかなければなりません。児童部門も黒字となっておりますが、厳しい状況であることには違いありません。各部門が収益改善・確保等を念頭に課題に取り組んで参りたいと思います。

<中期事業計画に基づく経営ビジョン・経営方針における令和6年度の実施計画>

1. 事業

(1) 内部資源・外部環境の分析、変化を念頭にした事業運営

障害部門では今後のみのりホームの運営を考え、障害児者総合支援センターへの場所移転と定員変更(4名→3名)を行った。高齢部門ではケア・アシスタンスが収支改善の為、加算型への類型移行を果たした。今後は老健施設の役割という視点から強化型への移行を目指すこととなる。児童部門においては出生数減少に伴う入所率減少の推移からたま保育園では定員減(70名→60名)を決断した。今後は運営継続の可否判断を如何に行なうかが課題となる。

(2) 新たなサービス

地域貢献としての事業、【財務】の視点で考える自主財源としての事業、何れにおいても現有資産である旧養護の土地・建物の活用並びに可否について次年度検討していくこととする。

2. 組織

計画の一つであった事業部制の導入検討であるが、事業部ごとの経営判断や課題解決の為に体制作りとして次年度から部門の代表者を置くこととした。合わせて一部委員会の位置づけと役割をリニューアルし、新たな執行部(仮)としての機能、日常の意思決定をはじめ経営判断や課題解決等を行う仕組みを施行することとなる。

3. 運営

(1) 多様性のある職場作り

- ①令和6年度から再雇用年齢を70歳まで引き上げたが、定年年齢の引き上げ(60歳→65歳)については、制度設計をはじめ引き続き検討することとする。

- ②女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画目標達成に向け、職員育成を図っていく。
・目標１：管理職（課長以上）に占める女性労働者の割合 40%（R6 年度 26.92% 7 人/26 人）

（２）魅力ある職場

働きやすく働きがいのある職場環境作り

＜育児休業取得状況＞

対象者数		取得者数	取得率	【次世代育成支援対策推進法】	
				目標 1	達成率
女性	7 名	7 名	100%	90%以上	100%
男性	2 名	2 名	100%	7%以上	100%
計	9 名	9 名	100%		

＜超過勤務状況＞

延べ人数	時間外	平均/1 人	【次世代育成支援対策推進法】	
			目標 2	達成率
5,251 名	20,277H	3.9H	15 時間未満/1 人	94.8%

＜有給休暇取得状況＞

対象者	付与	取得		取得率	【女性活躍推進法】	
	日数	日数	平均/1 人		目標	達成率
250 名	4635 日	3458.88 日	13.84 日	74.63%	10 日以上/1 人	66.2%

（３）ICT、AI、ロボット等の活用

つくし園において県障害福祉分野のロボット等導入支援事業補助金を活用し、業務改善機器として排泄予測支援機器「Dfree」、移乗介護機器「排泄サポーター ONBU」を導入（総事業費 1,543 千円・補助金 947 千円）。職員・ご利用者共に排泄に係る負担軽減（腰痛リスク・排泄介護・失禁回数減）に繋がっている。また路のとう舎では、死角（管理棟廊下・食堂・作業室）でのトラブルや事故原因の特定が難しいケースもあり、見守りカメラの増設（210 万円）を行った。また職員間のスムーズな情報共有を図る為、インカムを導入している。

（４）ホームページのリニューアル

当初の目標より少し延びることにはなったが、ホームページの管理・更新が自前でできる作りとし、6 月リニューアルを目途に進めている。

（５）サイバーセキュリティ対策

セキュリティ対策の一つであるクラウドバックアップの導入を次年度行うこととした。導入はサーバー単位となり、法人全体 4 台の導入調整を図っていくこととする。

（６）年間休日数の増

年間休日数 110 休日から 115 休日に増やすことで令和 7 年度はスタートするが、目標である 120 休日に向けて体制を整えていきたい。

4.財 務

【法人全体】

全ての指標が目標未達、資金繰りにおいては前年対比マイナス(1.41P)。

【高齢部門】

全ての指標が前年対比マイナス、CF(本業)で収入減・支出減・収支差額減(前年対比約△3,820万円)。
但しケア・アシスタンスにおいては、指標の目標達成には程遠いが全て前年対比プラス、CF(本業)で収入増・支出増・収支差額増(前年対比約1,620万円)

※PL(本業)における赤字拠点：特養7期・ケア・アシスタンス10期

【障害部門】

収益性・安定性が前年対比若干プラス、安定性においては目標数値を維持。一方、資金繰りは前年対比マイナス(1.53P)、CF(本業)で収入増・支出増・収支差額減(前年対比約△2,300万円)。

高齢部門への運転資金繰入や修繕等で積立資産8,140万円取崩し。

※PL(本業)における赤字拠点：蒔のとう舎(令和6年度)

【児童部門】

安定性以外目標数値達成。CF(本業)で収入増・支出増・収支差額増(前年対比約980万円)。

たま保育園においては、CF(本業)で収支差額がマイナス(収入減・支出減・収支差額増)。

※PL(本業)における赤字拠点：たま保育園8期(令和3年度を除く)

中期計画 経営指標			法人全体	高齢部門	障害部門	児童部門
収益性	サービス活動 増減差額率 (営業利益率)	目標値	3 %以上	3 %以上	7 %以上	3 %以上
		R 6 年度	-3. 91%	-15. 47%	1. 61%	5. 22%
		R 5 年度	-4. 33%	-11. 81%	-0. 78%	-0. 81%
安定性	現預金対事業 活動支出比率	目標値	3 ヶ月以上	3 ヶ月以上	3 ヶ月以上	3 ヶ月以上
		R 6 年度	2. 7 ヶ月	1. 2 ヶ月	3. 4 ヶ月	1. 2 ヶ月
		R 5 年度	2. 7 ヶ月	1. 4 ヶ月	3. 0 ヶ月	1. 3 ヶ月
資金 繰り	事業活動資金 収支差額率	目標値	7 %以上	5 %以上	1 3 %以上	5 %以上
		R 6 年度	3. 05%	-8. 55%	9. 19%	6. 94%
		R 5 年度	4. 46%	-3. 99%	10. 72%	3. 46%
労働生産性		目標値	4, 300 千円以上	4, 200 千円以上	5, 100 千円以上	4, 200 千円以上
		R6 年度	4, 715 千円	3, 638 千円	5, 618 千円	4, 588 千円
		R5 年度	4, 514 千円	3, 675 千円	5, 336 千円	4, 290 千円

<法人全体の目標値>

WAM（福祉医療機構）が提供する社会福祉法人の経営分析指標過去 10 年の平均値を参考に設定

○サービス活動増減差額率 3. 4% ○現預金対事業活動支出比率 3. 8 カ月 ○事業活動資金収支差額率 7. 5%

○労働生産性 4, 194 千円

参 考

<労働災害の状況>

4月～3月

	発生日	施設名	職種	起因分類	傷病名	休業	災害分類
1	4/24	蒔のとう舎	非生活支援員	利用者からの激突	鼻骨骨折	2日	業務災害
2	6/8	たま保育園	保育士	不注意	左手薬指打傷	なし	業務災害
3	6/16	つくし園	生活支援員	利用者からの激突	咬傷	なし	業務災害
4	6/18	みのりホーム	非生活支援員	不注意	左足関節三果骨折	104日	業務災害

5	6/24	つくし園	非 生活支援員	通勤途中の事故	右膝捻挫・ 右下腿打撲・ 腰椎捻挫	14 日	通勤災害
6	8/9	ケア・アシスタンス	介護支援専門員	不注意	右足甲打撲	なし	業務災害
7	8/8	療育園	生活支援員	利用者からの激突	前歯破損	なし	業務災害
8	10/8	蒔のとう舎	非 生活支援員	利用者からの激突	首・背中・腰捻挫	1 日	業務災害
9	12/10	蒔のとう舎	非 生活支援員	利用者からの激突	眼球打撲	なし	業務災害
10	12/26	ケア・アシスタンス	非 介護員	不注意	右人差し指創傷	なし	業務災害
11	12/27	療育園	生活支援員	利用者からの激突	左眼球外傷	なし	業務災害
12	1/11	つくし園	生活支援員	介助時の無理な動作	左手首捻挫	なし	業務災害
13	2/3	療育園	准看護師	不注意	右足首捻挫	4 日	業務災害
<p>備 考</p> <p>【起因分類】 不注意による怪我・介助時の無理な動作・利用者からの激突、精神疾患、交通事故 ワクチン接種後のアナフィラキシーショック</p> <p>【災害分類】 業務災害、通勤災害</p>							

<本部関係実施状況>

4 月～ 3 月

実施日	内容	備考
毎月	職員への誕生日お祝いメールの送付とお祝い品の贈呈	
4/5 5/13 6/5 7/4 8/5 9/3 10/7 11/5 12/5 1/6 2/5 3/6	全体管理者報告会開催	
4/22 5/20 6/26 7/19 8/19 9/24 10/10 11/25 12/9 12/19 1/28	執行部定例会開催	
4/22 9/2 1/9	経営改善委員会開催	
4/24 5/29 6/17 7/17 8/26 9/25 10/21 11/18 12/18 1/29	養護拠点運営会議開催	
4/25 5/28 6/24 7/29 8/27 9/24 10/28 11/25 12/23 1/27 2/26 3/24	施設長会議開催	4/25・9/24 中期計画プレゼン会 3/24 養護閉所式
5/2	事業報告・決算各事業所ヒアリング実施	
5/11	監事事業報告・決算ヒアリング実施	
5/18	令和 6 年度第 1 回理事会開催	
5/24 11/28	令和 6 年度移動献血事業	
5/30	辞令交付式（正規職員登用辞令交付）	
6/7 9/19 12/5 2/5	蒔のとう舎・みのりホームに関する打合せ	
6/8	令和 6 年度定時評議員会開催	
6/20 7/31 8/22 9/27 10/31	令和 6 年度給与担当事務員学習会開催（全 5 回）	

6/27 12/11	会報「せいらんそう」の発行と関係者への送付	
7/11 9/12 11/27 1/28 3/18	外国人就労者会議開催	
7/25	県一般検査 実地：法人本部、療育園、書面：たま、牛ヶ谷	文書指摘：なし
9/12	児童部門打合せ	
9/13	つくし園浴室改修工事経過報告並びに打合せ	
9/17	令和 6 年度第 1 回個人情報保護対策推進研修会開催	
10/17-18	第 23 回全国福祉村サミット	主催：(福)同朋福祉会
10/23 3/25	令和 6 年度苦情解決第三者委員会	
10/24	第一次補正予算・事業活動中間報告各事業所ヒアリング実施	
11/2	令和 6 年度第 2 回理事会開催	
11/26	令和 6 年度第 1 回苦情受付体制委員会主催法人内研修会開催	
11/30	令和 6 年度第 2 回評議員会開催	
12/11	第 21 回実務研究発表会開催	
12/16	令和 6 年度交通安全講習会開催	
12/24	令和 6 年度資格取得者・永年勤続者表彰式開催	
2/1	第 7 回障害者福祉セミナー開催	共催：(福)茨城県社会福祉事業団
2/20	令和 6 年度理事会（決議の省略）	
2/25	令和 6 年度第 2 回苦情受付体制委員会主催法人内研修会開催	
2/28	最終補正予算・事業活動計画各事業所ヒアリング実施	
3/4	令和 6 年度評議員会（決議の省略）	
3/11	令和 6 年度第 2 回個人情報保護対策推進研修会開催	
3/15	令和 6 年度第 3 回理事会開催	
3/17	財務担当事務員学習会開催	
3/19	新任職員・随時採用職員合同研修会開催	
3/27	令和 7 年度入社式・令和 7 年 4 月 1 日付辞令交付式	
3/29	令和 6 年度第 3 回評議員会開催	

以上